

# 富山大学の学生が持つ 富山市と金沢市のイメージ

11410079 酒本愛里沙

## 問題の所在

地理学においてイメージの研究は多岐にわたる→「場所イメージ」

**富山市**

- ・水田率が高い
- ・立山など
- 農村的なイメージ**

**金沢市**

- 伊藤（1994）
- ・「都会」「明るい」
- 都会的なイメージ**

**そもそも富山と金沢のイメージが違う**

→ **イメージの差異の要因とは何か**

## 既存の研究

- ・野村・吉田（2009）  
被験者のどのような側面がイメージ形成に影響を与えているのかということについて研究する必要がある
- ・伊藤（1994）  
被験者の属性も考慮したイメージ形成の説明が必要だとしている

→ **限定的な属性に絞り込むことで、この2都市の場所イメージがどのような形で作られてきたのかを明らかにする**

## 研究目的

富山大学の学生を対象に、富山市と金沢市のSD法を援用して場所イメージを明らかにする

↓

→ **限定的な属性に対して分析を行うことで、イメージの形成要因を明らかにし、イメージの差異について探求する**

## 調査対象地概要

**富山市**

- 人口：418,686人
- 面積：1,241km<sup>2</sup>
- 概要：

富山県のほぼ中央から南東部分を占め、北には富山湾を臨み、東には立山連峰、西には丘陵地帯、南には田園風景が広がる地域

富山湾から3000m級の山々を擁する自然豊かな土地

**金沢市**

- 人口：465,810人
- 面積：468.64km<sup>2</sup>
- 概要：

ほぼ石川県の中心部に位置し、北側は金沢平野が広がり、東側は白山連峰の丘陵地、西側は日本海に面する1市3町に挟まれた地域

市街地は近代的な商業施設が建ち並ぶ一方で、卯辰山や犀川など自然環境に恵まれた土地

## SD法とは

・心理学で多用され、従来数値化が困難とされてきた情緒的な要素を数値化し測定する方法であり、行動地理学をはじめ地理学においても、地理空間のイメージを分析する有効な手段（若林 1987）

第1図 イメージプロフィール例

## 研究方法・手順

大学生を対象に2度のアンケート調査を行い、SD法を用いて分析を行う

- 予備調査アンケート
- 本調査アンケート

①アンケート調査

②分析

- イメージプロフィール  
各尺度の平均値を線で結んだグラフのこと  
「とても」にプラスまたはマイナス1, 「やや」にはプラスまたはマイナス0.5, そして「どちらともいえない」には0の値を割り当てて数値化をした

- ノンパラメトリック検定
- イメージの差を検討
- (P < 0.05で有意)

③分析

## 調査アンケート内容

第1表 アンケート調査概要

	第1次アンケート調査 (予備調査)	第2次アンケート調査 (本調査)
実施年月	2017年10月	同年11月
回答者	富山大学人文学部生	同大学人文学部・経済学部・理学部・工学部・人間発達科学部1~4年生
人数	16名	159名
調査内容	評定尺度の選定選定 (形容詞などの語句の選定)	評定尺度法調査 (富山県の地域イメージ) 属性の調査 (出身地など)

## 結果

第2表 イメージプロフィールまとめ

	2都市全体 (図2)		富山県内外出身 (図3)		石川県内外出身 (図4)		出身地域別 (図5)		居住年数 (図6)	
	富山市	金沢市	富山県出身者	石川県出身者	富山県出身者	石川県出身者	富山県出身者	石川県出身者	5年未満	5年以上
富山市	「地味な」 「田舎」	「伝統的」 「古い」 「田舎」	「革命的」 「新しい」 「田舎」	「楽しい」 「華やか」 「革命的」 「新しい」	「地味な」 「田舎」	「伝統的」 「古い」 「田舎」	「革命的」 「新しい」 「田舎」	「革命的」 「新しい」 「田舎」	「伝統的」 「古い」 「田舎」	「革命的」 「新しい」 「田舎」
金沢市	「華やかな」 「都会」	「華やかな」 「都会」	「華やかな」 「都会」	「地味な」 「田舎」	「地味な」 「田舎」	「都会」	「華やかな」 「都会」	「田舎」 「地味な」	「田舎」 「つまらない」	「都会」 「華やかな」 「楽しい」

## 考察

### 場所イメージ

富山市  
→ 田舎・農村的なイメージ  
金沢市  
→ 華やか・きらびやかなイメージ

### イメージ形成要因

居住年数  
出身地域  
↓  
イメージに変化

### 2都市のイメージの差異

- 過小評価
- 「あこがれ」 → 地域的特性や人々の感情もイメージの差異に深く関わっている



## 参考文献①

- ・石黒正紀・中津光代1997. 福岡県の居住地嗜好体系からみたメンタルマップと場所イメージ. 福岡教育大学紀要46 (2): 1-17.
- ・井上正明・小林利智1985. 日本におけるSD法による研究分野とその形容詞対尺度構成の概観. 教育心理学研究33: 253-260.
- ・内田順文1987. 地名・場所・場所イメージ-場所イメージの記号化に関する試論-. 人文地理 39 (5): 391-404.
- ・尾藤尊雄1992. 東京都区部および周辺地域の「地域のイメージ」の構造. 地理学評論 65A-11: 801-823.
- ・杉浦芳夫・加藤近之1992. SD法による都市公園のイメージ分析. 総合都市研究46: 53-79. 中村知晴2007. 心理尺度作成における因子分析の利用法. The Annual Report of Educational Psychology in Japan46: 42-45.
- ・中村 豊1978. 名古屋市の地理的区間とメンタルマップ. 地理学評論51- 1: 1-21.
- ・野村幸加・吉田圭一郎2009. 東京デイズニードランドのイメージ構成要素とその形成要因. 季刊地理学61: 225-233.
- ・若林芳樹1987. 行動地理学における環境のイメージの測定法. 地理学ノート5: 1-5.

## 参考文献②

- ・Lynch.K. 1960. The image of the City. MIT Press, Cambridge, Mass.
- ・Osgood, C.E, Suci, G.J. and Tannenbaun, P.H. 1957. The Measurement of Meaning. University of Illinois Press, Urbana.
- ・富山市史編さん委員会編1987. 『富山市史 通史下巻』富山市.
- 中村 豊・岡本耕平1993. 『メンタルマップ入門』古今書院.
- ・リンチ著, 丹下健三・富田玲子訳1986. 『都市のイメージ』. 岩波書店.
- ・富山市ホームページ<https://www.city.toyama.toyama.jp/> (2018年1月15日確認)
- ・金沢市ホームページ<http://kanazawa-kankouyukai.or.jp/> (2018年1月15日確認)
- ・TOYAMANET<http://www.toyamashi-kankouyukai.jp/> (2018年1月10日確認)
- ・金沢旅物語<http://www.kanazawa-kankouyukai.or.jp/> (2018年2月7日確認)

